



小田原市立下中幼稚園

令和2年11月30日

暖かくなったり寒くなったりと、気温が安定しない日々が続いていますが、さくら組の子どもたちは、体調を崩すことなく毎日元気に登園し、いろいろな経験を積んでいます。11月は、飼育・栽培活動を経験する機会が多くありましたので、子どもたちの様子を紹介します。

## 飼育・栽培活動を通して

地域に住む小宮さん・石井さんの指導の下、スナップエンドウの種まきをしました。一つのポットに種を2つずつまき、最後に、「大きくなあれ！」とおまじないもかけました。

ある日、戸外で遊んでいると、かわいい芽が出ているのを発見。それから戸外に出る度に『大きくなったかな?』と気にして観察する様子が見られています。苗が大きくなったら、また、小宮さん・石井さんとともに畑に植え替えをする予定です。



別の日には、饒村さんの指導の下、タマネギ植えをしました。饒村さんに「これ触ってごらん。」と促され、茶色い土のようなものを触ってみると「なんだかフワフワしてる!」と気付きました。実は牛のうんちだと聞くとびっくり!!「え!触っちゃったよ!」と焦る子も。でも、この牛糞が美味しいタマネギを作るのに必要であると知ると、一生懸命畑にまき、苗を植えていました。



その他にも、年長さんがカメの冬眠準備をしているところを見せてもらったり、園長先生とチューリップの球根を植えたり、夏に育てていたオクラからたくさんの種がとれたり、いろいろな経験や発見をすることができたさくら組でした。



一人2色選んでチューリップの球根を植えました。春が楽しみ♪



カメさんおやすみ。またね。



乾いたオクラから音がする。種かな?

## 生活発表会に向けて

11月の初めに、年長さんの生活発表会の練習を見せてもらおうと、「自分たちもやりたい!」「家の人に見せたい!」と、生活発表会の取り組みが始まりました。第一学期から遊んでいた遊びがそのままお話となり、楽しんで練習をする姿が見られています。詳しい活動の姿は、追って手紙でお知らせしたいと思います。お楽しみに!

